

投資のリスクと分散投資の重要性

投資のリスクとは？

投資による将来のリターンは、投資開始時点ではあくまで期待や予想に基づくものであり、経済環境や景気動向などの影響を受ける不確実なものです。この不確実性の大きさを「リスク」といいます。

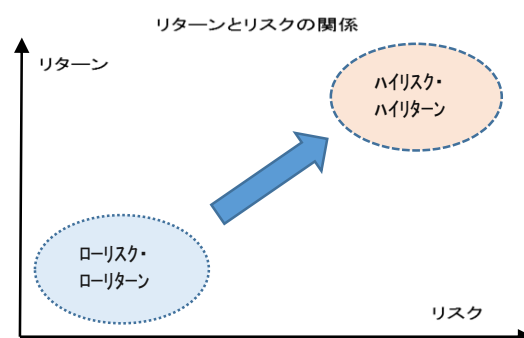
例えば、国債などの債券は、発行体が破綻しない限り、償還期日まで保有することで額面金額が戻ってくるため、一般的にリスクは比較的小さいと考えられます。一方、株式は企業業績や市場環境などによって価格が日々変動するため、債券に比べてリスクが大きい資産と考えられます。

リスクとリターンの関係

投資の原則！
「ローリスク・ハイリターン」の金融商品は存在しません！

リスクを低く抑えようとリターンは低下し、高いリターンを狙えばリスクも高まります。

逆にいえば一定のリスクを引き受けることによってリターン水準も相応に高くなることが期待できることになります。



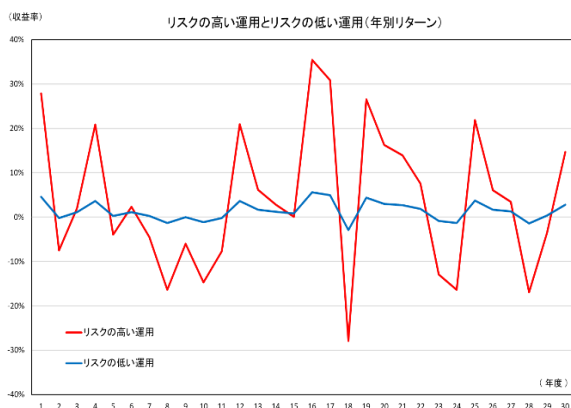
リスクの高い運用は時間を味方に！

リスクの低い運用（青線のグラフ）は、想定される期待収益率前後の狭い範囲でリターンの実績が推移しています。

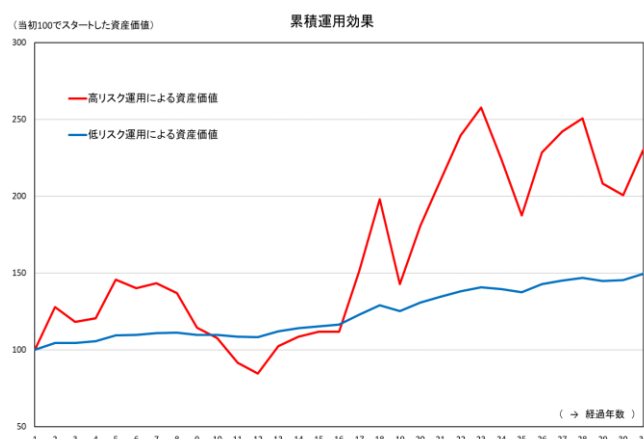
これに対してリスクの高い運用（赤線のグラフ）は、想定される期待収益率をはさんで実績が上下に大きくぶれており、リターンの変動幅が大きいことが分かります。

しかし長期間の累積投資を考えれば、リスクが低くてもリターンが低い運用は資産の増加も限定的です。

これに対してリスクが高くとも期待される収益率が高い運用は年ごとのリターンの変動が大きくとも、複利効果により資産価値が大きく増加する可能性が高まります。



この運用商品で
長期複利運用
をすると





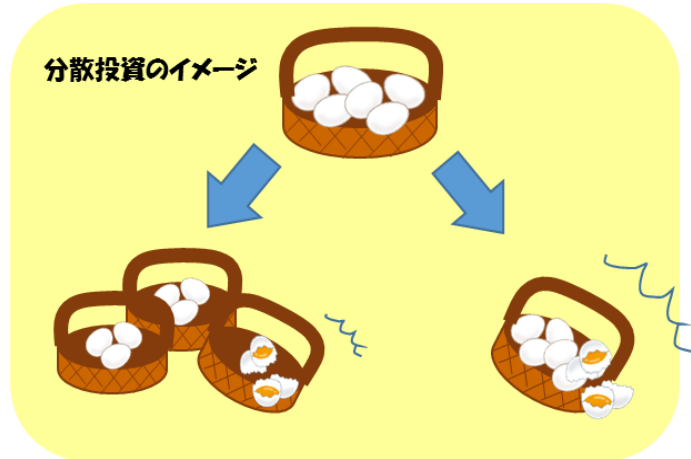
分散投資がなぜ重要？

投資対象や投資を行う時間を分散することでリスクを分散することができ、安定したリターンが期待できます。

「分散投資」の重要性を説明するのに頻繁に使われる格言に「卵をひとつのカゴに盛るな」というものがあります。

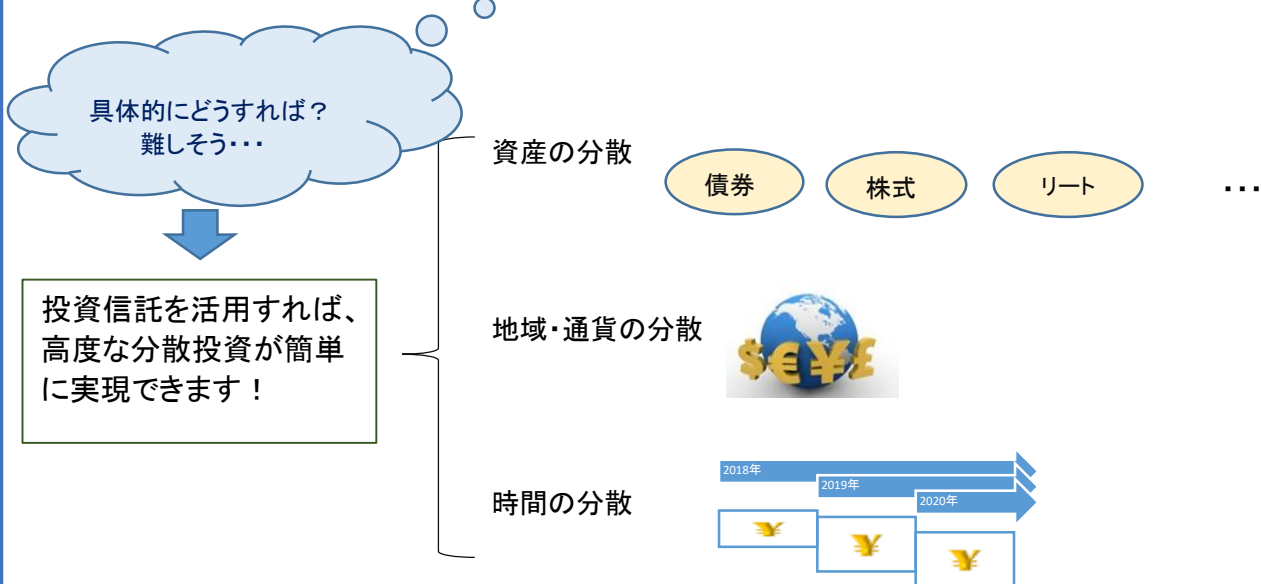
すべての卵を入れたカゴを落とすとたくさんの卵が一度に割れてしまいますが、カゴを複数に分けることによって、例えそのうちのひとつを落としてしまったとしても被害を最小限に抑えることができます。

投資は資産や通貨、時間などを分散し、リスクと上手に付き合うことが大切です。



分散投資の方法

債券や株式、不動産投信(リート)など投資する対象資産ごとにリスク・リターンの特性は異なります。また日本国内や米国、新興国など国や地域、円やドル、ユーロなど通貨を分散して投資することでリスクを分散し、ポートフォリオ全体としてのリスク・リターンの効率を向上させることができます。



【免責事項】

○本資料は、公表された資料に基づき作成されたものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

○本資料は、お客様への情報提供を目的としたものであり、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、本資料をお客様ご自身のためにのみ、お客様限りでご利用ください。なお、当社の事前の承諾を得ることなく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

○本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、当社は、理由の如何を問わず責任を負いません。


八十二証券

商号等：八十二証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号

加入協会：日本証券業協会、

一般社団法人 資産運用業協会